

2014年7月15日

Produce by Emilio maya

～ SAKURA PROJECTO VOL.1 ～

日本とスペインの懸け橋

本日は、日本のフラメンコ関係者の皆様に、日本在住のフラメンコギタリスト、エミリオ・マジャのプロデュース・監修の2014年「SAKURA プロジェクト Vol.1」スペイン公演についてお知らせをお送り致します。これは日本人の女性舞踊家4名のフラメンコを本場スペインの方々に観てもらうことが目的で、来月8月にグラナダ県にある3つの市で公演する予定です(以下ご参照)。

日時	場所
8月1日(金)	モトリル市 カルデロン・デ・ラ・バルカ劇場
8月2日(土)	アルムニェカル市 エル・マフエロ公園内ステージ
8月9日(土)	グアディクス市
※10月29日(水)	日本凱旋公演 新宿エルフラメンコ (代表:浅見純子)

踊り手 (50音順): 浅見純子、荻野リサ、大塚香代、吉田久美子
ギター: エミリオ・マジャ
カンテ: エル・ガジ(※スペイン公演のみ)、マヌエル・タニェ

[エミリオ・マジャより]

3年前から日本に住み始めましたが、日本人の踊り手たちについて一番感動するのは皆さんがフラメンコを本当に大好きだということです。この3年間というもの、日本のフラメンコ界で、高い芸術性とフラメンコ性、そしてフラメンコに全身全霊を捧げている素晴らしい踊り手たちを見てきました。それで私は、フラメンコに国境はない、大切なのはフラメンコに対する愛、それがフラメンコを世界的なものにするのだということを実際にスペイン人に観て信じてもらうため、いつかこの踊り手さんたちをスペインに連れて行かなくてはならないと心に決めたのです。そして今年2014年、ついに私の、そして彼女たちにとっての夢が実現します。日本人の踊り手であるが故に、他の国、この場合フラメンコ発祥の地スペインで、スペイン人の芸術を彼女たちが踊るというのは、時に難しいことです。しかし、本物のフラメンコでよい踊り手ならば、世界中のどこでも踊れるのだということを示す動機とよい見本が私にはあります。ですから、2014年、グラナダで公演を行うのです。

[踊り手より]

昨年この構想をエミリオから聞かされ、昨年 8 月アルムニェカル市 エル・マフエロ公園内ステージで私自身、舞台を経験させてもらいました。エミリオの実現していきたい“夢”に賛同し、プロデュースを手伝ってきました。エミリオ自身のフラメンコの世界での経験や実績、また人間性の素晴らしさ、信頼性は、踊りはもとより、日本のフラメンコ界の歌手、ギタリスト…エミリオに触れた多くの人達が彼の魅力に惹きつけられ、学びたい、と思っているのではないかと、思います。エミリオからの溢れでる、アイデアをどのように表現していくのか、沢山のミーティングを重ね 2014 年が実現しました。

日本との懸け橋となるエミリオの構想は、今後も「日本のフラメンコ界」を活性化させ、フラメンコに携わる人に夢を与え続けてくれるものだと思います。

(踊り手代表:浅見 純子)



プロデュース・監修:エミリオ・マジャ

プロデュース補佐:浅見純子

〃 協力:片山友紀